

なすからすやま

2022
November
No.206

11

Nasukarasuyama City Public Relations



特集 いちごいちえとちぎ国体……………2
 市営バスを利用してみませんか?……………6
 ワークライフバランス推進企業……………8
 市政功労伝達式……………9
 市内で秋のイベント続々と……………10
 まちかどリポート・「からせん」の思い出……………15
 お知らせ……………16
 みんなの自慢の1枚・秋の運動会盛大に……………18



- ①競技の様子(少年女子)
- ②大型スクリーンに的や選手が映し出される
- ③競技の様子(成年女子) ④選手自らが点数を確認
- ⑤真剣な表情で的を狙う選手(成年男子)
- ⑥熱い応援 ⑦壇上で表彰を受ける入賞者ら
- ⑧高得点を喜び合う選手 ⑨競技の様子(少年男子)
- ⑩栃木県選手団の皆さん

本県での開催は42年ぶり 第77回国民体育大会 「いちご一会とちぎ国体」

緑地運動公園で228人がアーチェリー競技の頂点競う

10月1日(土)から11日(火)まで県内各地で開催された「いちご一会とちぎ国体」。本市でも、10月8日(土)から10日(月・祝)まで緑地運動公園でアーチェリー競技会が開催されました。

今回は、競技中の選手の様子のほか、会場での選手や観客へのおもてなし、出場を果たした市民などについて、写真とともに紹介します。

8日(土)1日目	9日(日)2日目	10日(月・祝)3日目
クォリフィケーションラウンド ・個人の成績を競う ・2日目の団体戦の予選を兼ねる	イリミネーションラウンド～セミファイナル 団体戦の1回戦～準々決勝	ファイナルラウンド ・ブロンズメダルマッチ(3位決定戦) ・ゴールドメダルマッチ(決勝戦)

【アーチェリーのルールをおさらい】

70メートル離れたところにある直径122センチの標的に弓で矢を放ち、矢が当たった場所によって得点が決まります。標的の中心の得点が10点で、中心から遠ざかるほど点数が低くなります。個人戦では個人の合計得点で、団体戦は各県3名ずつの選手の合計得点で順位を争います。

総合開会式

10月1日(土)の昼過ぎからは、天皇皇后陛下も出席されて宇都宮市のカンセキスタジアムとちぎで総合開会式が行われました。総合開会式では、47都道府県からの選手団約1700人が入場したのち開会が宣言されました。また、7人の走者による炬火リレーも行われました。

新型コロナウイルス感染症の影響による中止や延期を経て、令和元年の茨城国体以来、3年ぶりの開催となった本大会では、「夢を感動へ。感動を未来へ。」をスローガンに、37の正式競技と特別競技の高等学校野球(硬式・軟式)が行われ、本県からは823人の選手が出場しました。

総合開会式などに市民が登場!

市内の児童・生徒を対象に募集した那須烏山市炬火名について、「心わくわく、未来に矢を放つなすからの火」で最優秀賞に選ばれた江川小4年の川上昂さん(熊田)は、総合開会式で行われた市町炬火集火式に本市代表として参加。他市

町の代表らとともにトーチで炬火台に火を灯しました。

サッカーで県の「とちぎ未来アスリート」に選ばれている江川小6年の和久葵波さん(下川井)は、総合開会式のエンディングプログラムで、元栃木SCの菅和範選手らとサッカーボールを使ったストラックアウトに挑戦。見事すべてのボールを的に命中させました。

とちぎ未来大使を務める歌手の藤井ゆみこさん(大沢)は、10月6日(日)、県総合運動公園内の国体特設ステージで歌謡ショーを行いました。自身の持ち歌である「栃木節」などを歌い、会場を盛り上げました。

アーチェリー競技が開幕!

本市では、10月8日(土)〜10日(月・祝)にアーチェリー競技が行われました。全国から集まった228名の選手が頂点を目指し、会場の緑地運動公園に集いました。

競技初日の8日(土)には、個人成績を競うクォリフィケーションラウンドが行われました。競技は種別ごとに行われ、成年男子・女子は42名の選手が、少年男子・女子は72名の選手が的と平行に1列に

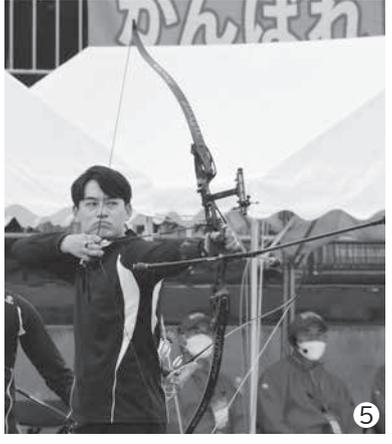


【栃木県選手団】

少年男子	梶塚一葉選手（県立烏山高校）、佐藤義斗選手（県立烏山高校）、川上颯大選手（県立烏山高校）
少年女子	平野薫選手（県立烏山高校）、芝沼亜衣果選手（県立烏山高校）、福田実玖選手（県立鹿沼高校）
成年男子	金子卓矢選手、星達也選手、館野磨生選手
成年女子	宮下真奈美選手、星亜沙美選手、井上いづみ選手

【大会結果】（団体）

	優勝	準優勝	第3位
少年男子	三重県	岐阜県	大阪府
少年女子	大分県	大阪府	滋賀県
成年男子	愛知県	群馬県	東京都
成年女子	静岡県	山形県	大分県



並び、一斉に矢を放ち得点を競います。また、翌日の3人1組の団体戦であるイリミネーションラウンドに進出する上位チームはクオリフィケーションラウンドの3人の合計点数で決まります。（少年男子・女子は16チーム、成年男子・女子は8チーム）

栃木県選手団は、成年男子・女子、少年男子・女子の4チーム12名が参加。残念ながら翌日のイリミネーションラウンドへの切符は手にできませんでしたが、最後まで仲間とともに戦い抜きました。競技終了後には、個人戦の表彰式が行われました。

競技2日目となる9日(日)には、イリミネーションラウンドが行われ、クオリフィケーションラウンドを勝ち進んだ少年16チーム、成年8チームによる熱い戦いが繰り広げられました。

最終日となる10日(月・祝)は、小雨が降り続く中、団体戦の3位決定戦のブロンズメダルマッチと決勝戦となるゴールドメダルマッチが行われました。選手が弓を構えると、会場は緊張感と静寂に包まれます。そして放った矢が的中心に当たった瞬間、声をあげてガッツポーズする選手と観客から響く

歓声。この緩急がアーチェリー競技の魅力のひとつです。競技終了後には、喜びや感動の涙を流す選手、悔しさを滲ませる選手も見られました。力を出し切った仲間や相手チームの健闘を称え合っていました。

午後3時からは表彰式が行われ、1位～8位のチームが登壇し、(公社)全日本アーチェリー連盟の穂苅美奈子理事長や川俣純子市長らから表彰状が授与されました。また、正式競技別男女総合成績第1位に手渡される「国民体育大会会長トロフィー」が同率1位となった大阪府と大分県に授与されました。

その後、会場地に与えられる記念プレートが穂苅理事長から川俣市長に手渡されました。表彰式には、開催地の栃木県選手団も駆けつけたほか、サプライズで県のマスコットキャラ「とちまるくん」も登場しました。

熱い戦いが繰り上げられた3日間。仲間とともに全力を出し切った選手たちは、実行委員やボランティアスタッフが見送られながら、晴れやかな笑顔で会場を後にしました。

◆

熱い戦いが繰り上げられた3日間。仲間とともに全力を出し切った選手たちは、実行委員やボランティアスタッフが見送られながら、晴れやかな笑顔で会場を後にしました。

熱い戦いが繰り上げられた3日間。仲間とともに全力を出し切った選手たちは、実行委員やボランティアスタッフが見送られながら、晴れやかな笑顔で会場を後にしました。

ご協力いただいた皆さん
ありがとうございました!



ボランティアが大活躍!

大会には、鳥山高校生をはじめ、たくさんの市民がボランティアとして参加しました。競技の運営を支える競技補助員のほか、選手や会場でのおもてなしをカメラで撮影する広報ボランティア、環境美化のためのごみ拾い、会場設営、式典の運営補助など、多くのボランティアが活躍しました。



会場までシャトルバスを運行

保健福祉センターおよび那須烏山市武道館から会場の緑地運動公園までシャトルバスを運行しました。



花いっぱい運動

市内の児童・生徒が育てたマリーゴールドやメランポディウムなどたくさんの花々が会場を彩りました。



ボウリング

増山満枝選手(鴻野山)

10月8日(土)~10日(月・祝)に足利市の足利スターレーンで行われた成年女子団体の試合に増山選手が出場しました。



サッカー

小森輝星選手(向田)

10月2日(日)から真岡市総合運動公園などで行われたサッカー少年男子に、矢板中央高校2年の小森選手が出場しました。準々決勝では大阪府に惜敗したものの、見事5位入賞を果たしました。小森選手は、キャプテンとしてチームを引っ張り、勝利に貢献しました。



競歩

内藤未唯選手(小倉出身)

神奈川大2年の内藤選手がカンセキスタジアムとちぎで行われた競歩5000メートルに出場しました。10月10日(月・祝)に行われた決勝戦では、22分30秒07の自己ベストをたたき出し、見事7位に入賞。県の記録も更新しました。

国体アラカルト

特集

普及啓発

市政情報

地域の情報

まちかどリポート

お知らせ



来場者がアーチェリーを体験

会場内では、一般観覧者や学校観戦の子どもたちがアーチェリーを体験できるコーナーも設置されました。県内出身のアーチェリー経験者から指導を受けながら、子どもからお年寄りまで、アーチェリーを楽しみました。



子どもたちも競技に興味津々

市内の小・中学生が会場を訪れ、競技の観戦やアーチェリー競技を体験しました。

おもてなしコーナーも充実

選手や来場者へのおもてなしの一環として、様々な市の名産が振る舞われました。市観光協会では、旧向田小（いちごの学校）で水耕栽培している「いちご」や、龍門カフェの人気メニューベーグルがふるまわれました。また、日替わりで市内菓子店の銘菓も提供され、好評を博しました。そのほか選手や観客がほっと一息つける休憩所を設置し、ドリンクも振る舞われました。



市民などが 国体の晴れ舞台へ！

アーチェリー、ボウリング、サッカー、競歩の4競技で、市民など8人が出場しました。それぞれが日頃の練習の成果を発揮しました。

アーチェリー

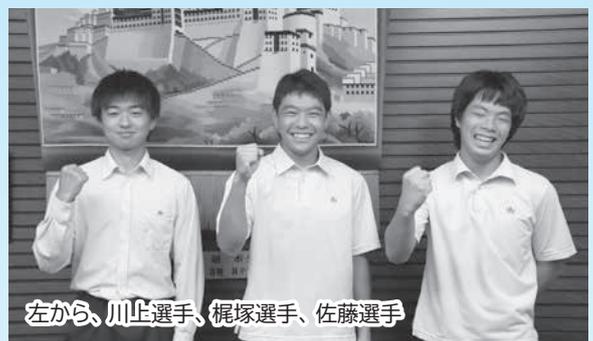
【少年男子】

梶塚一葉選手、佐藤義斗選手、川上颯大選手

【少年女子】

平野薫選手、芝沼亜衣果選手

10月8日(土)～10日(月・祝)に本市の緑地運動公園が会場となったアーチェリー競技には、烏山高校アーチェリー部から5人の選手が出場しました。



左から、川上選手、梶塚選手、佐藤選手



左から、芝沼選手、平野選手

公共交通の未来を考える

市営バスを利用してみませんか？



人口減少や自動車の普及、新型コロナウイルス感染症などの様々な要因により、公共交通離れが進み、利用の少ない地方鉄道やバスは廃止されるなど、公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。市民生活の中で必要不可欠な地域公共交通を未来に残していくため、広報なすからすやま10月号「みんなで守ろう鳥山線〜鳥山線の現状を知ろう〜」に続き、今回は、市営バスの現状をお知らせします。これからの公共交通について考えてみませんか？

公共交通の問題は「自分ごと」

皆さんの中には、市営バスに乗ったことがないという人もいると思います。自分や家族は自動車を運転できるからと、自分には関係ないことと思っている人もいるかもしれません。しかし、「両親が高齢になり運転免許を返納したら」「自分がやや病気で自動車を運転することが難しくなったら」「子どもがバス通学するようになったら」など、たとえ今は必要なくても、いつか公共交通のバスが必要となる時が来るかもしれません。公共交通の問題は「自分ごと」として捉えることが必要です。

本市の市営バスは「鳥山高部線」と「市塙黒田鳥山線」

本市では、地域住民の移動を支える交通手段として、市営バス「鳥山高部線」（からすやまたかおせん）「市塙黒田鳥山線」の2路線を運行しています。

「鳥山高部線」は、JR鳥山駅を起点として、鳥山中学校や鳥山高校、那須南病院を經由して、常陸大宮市高部まで運行しています。「市塙黒田鳥山線」は、JR鳥山駅を起点として、鳥山中学校や鳥山高校、那須南病院を經由して市貝町市塙まで運行しています。

平成の初め頃は、JR鳥山駅前に17路線のバスが乗り入れしており、通勤、通

学のため多くの人の利用がありました。が、自家用車の利用が増えたことや少子高齢化などによる人口減少により利用者は減少し、次々とバス路線が撤退しました。現在、JR鳥山駅に乗り入れするバスは、市営バス2路線に加え、那珂川町コミュニティバス「馬頭鳥山線」の3路線。市内を運行するバスは、上記3路線に加え、志鳥地内を走行する関東自動車株のバス路線（JR氏家駅、喜連川、馬頭車庫）の4路線となり、全ての路線が、運行経費に対して運賃収入が少ない、いわゆる「赤字路線」となります。運行を継続していくためには、多くの人に利用してもらう必要があります。

運行にかかる経費は年間1,421万円

市営バスの令和3年度（※1）の運行経費（※2）は約1,421万円でした。一方、年間の利用者（延べ人数）は10,481人であり、運賃収入は約374万円で、1,000万円を超える大幅な赤字となっています。

※1.. 事業年度（バス年度）での集計。令和2年10月から令和3年9月までの期間。

※2.. 運行業務委託料および車両修繕料、減価償却財産、その他光熱水費などの合計

運行経費から運賃収入を差し引いた不足部分は、国からの交付税や県の補助金、バス路線が乗り入れる茂木町、市貝町、

お得に乗車できる回数券



1,000円券および3,000円券の2種類を販売しています。どちらも購入金額に対し券数が1割増しで、お得に利用できます。回数券は市営バス車内および市役所まちづくり課窓口、定期券は市役所まちづくり課窓口で販売しています。

自由乗降制度



乗車の際は、時間に余裕をもって、見通しの良いバス路線上で運転手が分かるよう大きく手を挙げてください。降車の際は、希望場所に近づきましたら、早めに運転手へ口頭でお知らせください。バスは、安全に降車できる場所で停車します。

市営バス2路線の経費や収入など

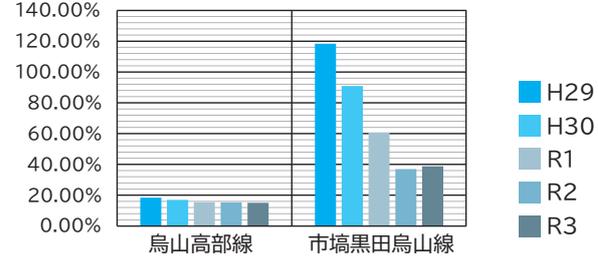
【烏山高部線】

事業年度	期間	乗客数(人)	経費(円)	収入(円)	収支率(%)
平成29年	H28.10~H29.9	5,382	8,326,845	1,531,404	18.4
平成30年	H29.10~H30.9	4,701	6,694,099	1,135,583	17.0
令和元年	H30.10~R 1.9	3,967	6,898,337	1,070,463	15.5
令和2年	R 1.10~R 2.9	4,605	7,100,699	1,094,281	15.4
令和3年	R 2.10~R 3.9	4,355	7,496,862	1,135,212	15.1

【市埴黒田烏山線】

事業年度	期間	乗客数(人)	経費(円)	収入(円)	収支率(%)
平成29年	H28.10~H29.9	14,272	5,655,796	6,692,845	118.3
平成30年	H29.10~H30.9	13,455	6,880,559	6,254,766	90.9
令和元年	H30.10~R 1.9	9,743	7,536,563	4,580,705	60.8
令和2年	R 1.10~R 2.9	6,374	7,548,310	2,796,226	37.0
令和3年	R 2.10~R 3.9	6,126	6,715,248	2,608,521	38.8

収支率の推移



茨城県常陸大宮市からの負担金に頼っていますが、近年、利用者の更なる減少により運賃収入が大幅に減少し、行政の運行にかかる経費負担が大きくなっています。

収支率を基準に運行継続を判断

市では、バス路線の維持が、地域住民のニーズに合っているか、バス路線の維持が今後も必要か否かを判断する手段として、収支率（各路線の運行経費に対する運賃収入の割合）の動向を注視しています。

烏山高部線は、常陸大宮市（旧美和村）からの通勤・通学利用の減少に加え、スクールバス網の整備や、家用車の普及に伴い、ここ数年の収支率が低迷しています。市埴黒田烏山線は、市貝町方面から本市への通勤・通学の利用により収入が安定していましたが、近年通学利用が減少したことで定期券収入などの減少が

進み、収支率が悪化しています。

このまま利用の減少が進み、バス路線を維持する必要性が薄いと判断される場合は、市営バスの運行ルートの見直しや利用が少ない時間帯の減便などを検討したうえで、路線の再編を検討する必要があります。路線再編後も収支率の低下が進む場合は、バス路線の廃止や他の交通手段への転換などを検討する必要があります。

本市の取り組み

市では、より多くの人に便利に利用してもらうために、路線やバス停の位置、ダイヤの変更などを必要に応じて行ってきました。お得な回数券・定期券を利用しているほか、自由乗降制度を導入しており、バス路線上であればバス停の有無に関わらず、任意の場所で乗り降りすることが出来ます。

公共交通の存続は必要不可欠

今は市営バスを必要としない人でも、自分自身や家族が将来、市営バスを必要とする日が来るかもしれません。市民の皆さんの足として、また、高校生の通学のため、今後も市営バスを安定して継続していくためには、皆さんの利用が欠かせません。この機会に、市営バスを利用してみませんか？

市内企業5社を市ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定

市では、10月26日(水)にワーク・ライフ・バランス推進企業認定証交付式を開催し、市内企業5社が「推進企業」として認定されました。これは、今年度から始まった取り組みで、働きやすい環境づくり、育児・介護と仕事の両立支援、女性活躍支援、地域活動支援の4つの分野30項目のうち、15項目以上に該当する企業を認定するものです。市では、その取り組み事例を広く紹介することにより、市内企業における職場環境の整備の促進、意識の醸成、成長および発展を目的としています。



認定証交付式の様子

令和4年度 ワーク・ライフ・バランス認定推進企業



認定番号第1号

リンレイテープ株式会社 栃木工場・江川工場

- 業種：各種粘着テープ製造業
- 所在地：藤田1600-72、志鳥2438-2
- 従業員数：84名

前年度の有給休暇取得率は79%。小学3年生まで育児短時間勤務可能など、家庭と仕事の両立支援が充実しています。「健康経営優良法人2022認定書」を取得しています。



認定番号第2号

大生工業株式会社 宇都宮工場

- 業種：機械製造業
- 所在地：南大和久984-21
- 従業員数：100名

生産方式の見直しにより重点的な効率向上に取り組み、残業はほぼゼロ。健康経営を掲げ、腰痛改善プログラムや血圧計の導入など各種健康事業を実施しています。



認定番号第3号

有限会社ひらつね

- 業種：再生資源卸売業
- 所在地：金井2-11-21
- 従業員数：6名

就業時間内に業務完了できるよう仕事配分を綿密に組み立てているため、毎日がノー残業デー。社員全員で「気づき」を共有し職場環境の向上を図っています。



認定番号第4号

烏山信用金庫

- 業種：金融業
- 所在地：中央2-4-17
- 従業員数：178名

全職員が取得する9日間の連続休暇、四半期に一度のリフレッシュ休暇、ノー残業デーなどの取り組みを推進し、職員のモチベーション向上につなげています。



認定番号第5号

株式会社悠愛

- 業種：訪問看護・介護サービス業
- 所在地：神長422-1
- 従業員数：27名

子連れ出勤や直行直帰など、柔軟な働き方が可能な「ママさんサポート制度」を導入。地域との関わりを大切にし、月1回「暮らしの保健室」を開いています。

市ホームページにおいて、各企業のワーク・ライフ・バランスの取り組み事例等を紹介しています。次の募集は令和5年6月頃を予定しています。詳細は下記あてお問い合わせください。

- 問合せ
商工観光課商工振興グループ
☎0287-83-1115



市政功労伝達式

市政の発展や福祉の増進に尽力した 功労者や団体を表彰しました

市では、市政発展や福祉増進に寄与された顕著な功労を讃え、様々な分野で活動する人や団体を表彰する「市政功労伝達式」を10月23日(日)に烏山公民館で開催しました。

式典では、特別功労表彰、市政功労表彰、善行表彰、およびまちづくり貢献賞の受賞者に川俣純子市長が表彰状を授与しました。その後は、受賞者を代表し、金枝好光さんが謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略、()内は功績)

■特別功労表彰

齋藤文男(多年にわたる消防団長活動)、棚橋誠一郎(多年にわたる那須烏山商工会理事活動)、長山留明(多年にわたるスポーツ推進委員活動)、金枝好光(多年にわたるスポーツ推進委員活動)、小原澤英雄(多年にわたるスポーツ推進委員活動)

■市政功労表彰

黒須正一(正副行政区長)、三浦秀文(正副行政区長)、黒須正夫(正副行政区長)、小沼清利(正副行政区長)、郡司孝一(正副行政区長)、磯智晴(保護司)、および南那須保護区保護司会会計、村上和男(民生委員児童委員)、高久廣美(民生委員児童委員)、栗原一夫(南那須土地改良区理事)、藤田善實(荒川南部土地改良区理事)、荒井節(那須南農業協同組合代表理事)、池田久雄(那須南農業協同組合理事)、久野目茂(那須南農業協同組合理事)、東原節子(栃木県消費生活リダー連絡協議会那須烏山支部役員)、渋谷由放(市議会議員)、田島信二(市議会議員)、石倉聡(学校歯科医師)、西崎修(学校薬剤師)、大貫公次郎(スポーツ推進委員)、柴山良典(スポーツ協会役員)

■善行表彰

信金中央金庫(企業版ふるさと応援寄附金1,000万円を寄附)、(株)理研グループ(企業版ふるさと応援寄附金300万円を寄附)、アグロ カネシヨウ(株)(企業版ふるさと応援寄附金200万円を寄附)、リンレイテープ(株)(企業版ふるさと応援寄附金150万円を寄附)、日産化学

□感謝状

(株)小林工業(企業版ふるさと応援寄附金50万円を寄附)

(株)企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、(株)エス・ディー・エス バイオテック(企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、保土谷化学工業(株)(企業版ふるさと応援寄附金100万円を寄附)、樋山洋(小中学校の図書購入費用として100万円を寄附)

■まちづくり貢献賞

野木勝(いきいきクラブ南那須支部会長および同支部理事)、小池清三(いきいきクラブ南那須支部副会長および同支部理事)、向田ふれあいの里管理運営委員会(多年にわたる地域の社会福祉活動)、大木須ふれあいの里管理運営委員会(多年にわたる地域の社会福祉活動)、滝田和子(食生活改善推進員協議会役員)、堀井二子(婦人会会計および同会保健体育部長)



表彰を受ける荒井さん



金枝さんによる受賞者代表謝辞

芸術の秋 読書の秋

市内で秋のイベント続々と

市文化祭



10月22日(土)、23日(日)に、市文化祭(同運営委員会主催)が烏山公民館と烏山体育館で開かれました。今年は、令和元年東日本台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりの開催となりました。

烏山公民館では、22日に芸能大会が開かれ、民謡や舞踊、三味線など芸能活動に取り組む団体などが、ステージ上で練習の成果を披露しました。翌日には、講師を招いた盆栽体験教室が開かれたほか、市文化協会茶道部によるお茶会も開かれ、本格的なお手前で参加者にお茶を振る舞いました。

烏山体育館では、2日間にわたり、市民をはじめ市内の幼稚園・保育園や小・中学校のほか、文化協会員から募集した文芸や書、美術、工芸、盆栽などの作品が展示され、訪れた多くの人の目を楽しませました。

上：烏山公民館で行われた芸能大会
中央・下：烏山体育館で行われた作品展示



図書館まつり

10月23日(日)、南那須図書館と烏山図書館で、「図書館まつり」が開かれました。

当日は、南那須図書館で「アトリエびっき」によるおはなしフェスティバルのほか、ウエルカムボードを特殊な絵具で彩るディンプルアート体験講座、枝木で小物棚を作る木工体験教室、電子図書館体験会が開かれ、親子連れなど多くの人でにぎわいました。

また、両館で図書や雑誌を無料で配布するリサイクルフェアや館内に貼ってある問題を見つけて答えるクイズラリーなど様々な催しが行われました。

上：たくさんの子どもたちが夢中になったおはなしフェスティバル
下：ディンプルアート教室で思い思いに色を塗る参加者



▼反省検討会の様子

新型コロナウイルス感染対策強化へ 山あげ祭実行委員会が方針協議

山あげ祭実行委員会(三森文徳実行委員長)が9月28日(水)、烏山公民館で山あげ祭の反省検討会を開き、関係者など約60人が参加しました。

これは7月に行われた山あげ祭で関係者らの集団感染が確認されたことから開催されたものです。関係者の事前のPCR・抗原検査の実施や各町および山あげ保存会芸能部会から安全管理者を選任し、これまで各自に任せていた健康チェックや行動記録などを点検する仕組みの構築など、安全な祭の開催のための方針を協議しました。

皆さんの意見をお聞かせください 市長との意見交換会を開催

市では、市民協働のまちづくりを目指して、市政について皆さんの声を聞くため、市民や団体などとの意見交換会を開催しています。

9月29日(木)には「市長と話そう! なすからタウンミーティング」が烏山南公民館で行われ、市民9人が参加し、「将来のまちづくり~第3次総合計画に向けて~」をテーマに納税に関することや防災、市民団体の育成など様々な意見が交わされました。

10月7日(金)には「移動市長室」がリハビリステーション歩(興野)で行われ、スタッフ3人とデマンド交通について意見を交換しました。施設利用者の意見などから、現状の課題を話し合ったり解決策の提案を検討したりしました。

いずれの参加者からも、「直接市長と話しができる機会が持てて良かった」などの声がありました。

今後も開催を予定していますので、ぜひ、参加して、皆さんの意見をお聞かせください。



▼要望書を福田知事(右)に提出する川俣市長(左)

住民の不安払拭を目指し 県に豚熱に関する要望書提出

10月7日(金)、川俣純子市長が県庁を訪れ、福田富一知事に7月に市内の養豚農場で発生した豚熱への対策に関する要望書を提出しました。内容は、埋却地所周辺での水質モニタリングや埋却物の流失防止に向けた農場への指導などの4項目です。

県は12日(水)、埋却地下流域の井戸3か所で水質検査を実施し、いずれも異常がなかったと公表。今後も定期的な水質検査が実施されます。

市でも引き続き、風評被害防止や埋却による影響など県と連携を図りながら慎重に対応していきます。



上：市長と話そう! なすからタウンミーティング(烏山南公民館)
下：移動市長室(リハビリステーション歩)



◀ 奉仕作業に汗を流すシルバー人材センター会員

シルバー人材センター会員が奉仕作業でさわやかな汗流す

市シルバー人材センター(澤村俊夫理事長)では、10月15日(土)、保健福祉センター周辺で奉仕作業を行いました。これは、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に合わせて環境美化と地域貢献のために毎年行っているもので、約80名の会員が徐草・芝刈り・草刈り・植木の剪定作業に3時間ほどにわたり汗を流しました。

同センターでは、高齢者の豊かな知識と経験を生かした様々な作業を受託していますので、詳細は、同センター事務局(☎0287-88-7731)あてお問い合わせください。



◀ 旭交差点での特別街頭指導

市内で事故防止を呼びかけ 秋の交通安全運動

9月21日(水)~30日(金)にかけて「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が行われました。

初日となった21日(水)には、旭交差点で、市や那須烏山警察署、交通安全協会、安全運転管理者協議会などの関係者約15人が特別街頭指導を行い、安全運転を呼びかけました。また、26日(月)には、「子どもや高齢者に優しい3S運動の推進強化の日」として、市内スーパーでチラシや啓発グッズを配布し、買い物客へ横断歩道での一時停止を呼びかけました。



◀ ステージ上で演奏する子どもたち

子どもたちが美しいメロディー奏でる 南那須地区音楽祭

第17回南那須地区音楽祭(同実行委員会主催)が、10月4日(火)に那珂川町のあじさいホールで開かれ、南那須地区の11の小・中学校の児童・生徒が参加しました。当日は各校とも素晴らしい演奏を披露し、ホールには美しいメロディーが響きわたりました。

10月24日(月)・25日(火)には、栃木県音楽中央祭が宇都宮市文化会館などで開かれ、本市からは、合奏で烏山小・荒川小・江川小・烏山中、合唱で境小が出場しました。



◀ 仮装してクイズなどを楽しむ子どもたち

「トリックオアトリート！」英会話でハロウィン楽しむ

市では、10月16日(日)、烏山公民館でハロウィンデイキャンプを開催し、市内の小学生47人が参加しました。子どもたちは思い思いの仮装をし、外国人講師と絵本やクイズでハロウィンの由来について楽しく学びました。

3年ぶりの開催となった今年は、なすから英会話サークルや市国際交流協会の会員も協力。英語で質問して正解するとお菓子がもらえる「トリックオアトリート！」では、たくさんの英語が飛び交い、楽しむ子どもたちの姿が見られました。



参加者を前に講話をする中村会長

那須烏山報徳会 60周年を記念し講話

二宮金次郎の教えを研究・実践する那須烏山報徳会(中村彰太郎会長)が発足60周年を迎え、10月8日(土)に天性寺で講話などの記念事業を開催し、市民など43人が参加しました。講話では、天性寺の大山勝道東堂が江戸後期に烏山藩の荒地開発や救世済民を進めた円応和尚と烏山藩家老の菅谷八郎衛門の功績を話したほか、中村会長が二宮尊徳の教えである分度や徳について話しました。

中村会長は、「お二人の造ったお救い小屋は誇るべき歴史遺産です」と話していました。

旧向田小を活用して 市観光協会がいちごを水耕栽培

市観光協会で行き組む「いちごの学校」の内覧会が10月2日(日)に開かれ、烏山中の科学部1～2年生10人や地元住民らが参加しました。

これは、市観光協会が千葉県にある(株)ハンモ(嶋村茂治代表取締役)の協力を得ながら、旧向田小の教室を活用していちごの水耕栽培を行うもの。この栽培方法では、土を使わずに少量の水と培養液を用いて栽培することができ、本来であれば栽培が難しい夏でも、いちごを栽培できることが特徴です。現在は、もとの理科室内に1500株のいちごポットが設置されています。当日、参加者らは、嶋村代表取締役から資源問題や栽培方法の仕組みについて講義を受けたあと、実際の栽培状況を見学。赤く色づいたいちごを食べた生徒からは「甘い」「美味しい」との声があがりました。

同校1年で自宅が梨農家である大野博登さん(大楠)は、「廃校を利用していちごを栽培できることや、農業から観光資源などにつながる感じがすごいと思った。色々なことが学べてよかった」と話し、いちごの栽培に関心を高めた様子でした。また、嶋村代表取締役は、「資源や廃校の課題をうまく組み合わせることで大きな価値につながる。いちごが特産の栃木県でいちごの栽培ができることで活用の幅が広がると思うので、那須烏山市をモデルケースに、全国に取り組みを広げていきたい」と今後の展望を語りました。

いちご園は、令和5年の春頃に開園する予定。市観光協会では、一般向けに摘み取りが体験できるいちご園とする以外にも、学生の学びの場として活用できることを目指しています。



関東大会に出場した塩野目さん

塩野目さんがソフトボールで 関東中学校体育大会に出場

塩野目愛理さん(初音)が通う那須塩原市立厚崎中学校ソフトボール部が、8月7日(日)～9日(火)に千葉県で開催された「第50回関東中学校ソフトボール大会」に出場しました。

この大会にはショートのポジションで出場し、普段はピッチャーとしても活躍している塩野目さん。「思い通りにいかないところがあったが、最後は自分たちのプレーができた。高校進学後も負けずにレギュラーを勝ち取りたい」と大会を振り返るとともに、今後の目標を笑顔で語りました。



▲実ったいちごをほおぼる子どもたち

堀江さん、菊池さん 100歳おめでとうございます

堀江巧さん(大沢)が8月28日(日)に、菊池鉄男(金井1丁目)が9月25日(日)に満100歳の誕生日を迎え、市から祝詞と記念品が贈られました。

堀江さんは、現在自宅で生活していて、94歳になる奥さんと楽しくお話することが日課だそうです。以前は植木が趣味だったほか絵を描くことも好きで、自宅には堀江さんが描いた絵がたくさん飾られています。

誕生日は家族そろってお祝い会が開かれたそうで、堀江さんは「百歳を迎えられてうれしい」と笑顔を見せていました。

菊池さんは、週2回デイサービスに通いながら自宅で生活しています。長年続けた柔道では、栃木県で準優勝した経歴を持つ菊池さん。また、お祭り好きで、山あげ祭の若衆も長年務めていたそうです。現在の菊池さんの楽しみは毎日の晩酌。特に日本酒がお好みとのこと。

好き嫌いせず何でも食べることが、そして大好物のウナギをよく食べていることが、菊池さんの元気の源のようです。



上：堀江さん
下：菊池さん



公立の幼稚園・保育園を紹介します

市内には、保育施設が複数ありますが、今回は公立の幼稚園・保育園を紹介します。

つくし幼稚園は、小学校以降の教育の基礎をつくるための教育施設です。にこにこ保育園とすくすく保育園は、保護者の労働や疾病などにより、家庭での保育が難しいお子さんを、保護者に代わって保育することを目的とする児童福祉施設です。

また、にこにこ保育園には、主に未就園児を対象とした子育て支援センター「きらきら」も併設しています。親子が自由に遊びながら交流し、子育てについて学び合える場所の提供のほか、様々なイベントも開催しています。

こども課保育グループでは、保育園の入園申し込み(幼稚園は園に直接の申し込みとなります)や相談などを随時受け付けていますので、気軽にお問い合わせください。

■問合 こども課保育グループ ☎0287-88-7116



つくし幼稚園

子どもが楽しく遊べる幼稚園を目指しています。

【所在地】東原50 【定員】105名

【電話番号】0287-88-2131

【開園時間】

平日：午前9時～午後2時

預かり保育：午後2時～5時(有料)

【対象年齢】3歳～小学校就学前



すくすく保育園

豊かな自然環境に恵まれた保育園で、異年齢児との交流を積極的に取り入れています。

【所在地】野上703-1 【定員】80名

【電話番号】0287-82-2359

【時間】

平日：午前7時15分～午後7時

土曜日：午前7時15分～午後5時30分

【対象年齢】5か月～小学校就学前



にこにこ保育園

園児も保護者も職員も“にこにこ笑顔”で通える保育園を目指しています。

【所在地】岩子152-1 【定員】141名

【電話番号】0287-88-5252

【開園時間】

平日：午前7時15分～午後7時

土曜日：午前7時15分～午後5時30分

【対象年齢】5か月～小学校就学前



子育て支援センターきらきら

【所在地】岩子152-1

(にこにこ保育園内)

【電話番号】0287-88-5151

【開館時間】

平日：午前9時～正午

午後1時30分～4時

【休館日】土・日曜日および祝日

まちかど*レポート



家具を製作する安藤さん

女性目線が光る「家具づくり」

一級建築大工技能士 安藤 綾音さん



一級建築大工技能士試験での作品と並ぶ父の大祐さんと綾音さん

プロフィール

- 出身地：金井1丁目
- 趣味：ピアノを弾くこと、自動車

市内家具店の4代目・安藤さんは、国家資格である「一級建築大工技能士」を取得しました。合格率も低く、全国でも女性の保有者は珍しいため、自身も合格できると思っていたそう。「合格通知を見たときは感動した。家族や恩師もとても喜んでくれた」と振り返ります。

高校入学を前に自らの意志で家業を継ぐことを決意し、工業高校に進学した安藤さん。専門学校で建築やデザインを学んだのち、宇都宮市で建築の現場監督の仕事をしながら建築士資格を取得し、1年ほど前に市内に戻ってきました。現在は、父の大祐さんのもとで、図面や家具の製作のほか、現場での取り付けなどに日々奮闘しています。課題もあり、まだまだ一人前にはなれないと話す安藤さん。「父から得るものがたくさんあるので、頼りにしている」と少し照れた様子で話します。

「この仕事のやりがいは、『安藤さんに頼んでよかった』という言葉をもたらえたとき。自分たちに頼んでくれるお客様からの信頼を守っていきたい」と話す安藤さん。資格取得をきっかけに、「建築業界がもっと女性が働きやすい職場環境になるように、女性が活躍できる仕事であることを広めていきたい」と笑顔で力強く語りました。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が令和5年4月に全線開業100周年を迎えることを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

高野昌司さん(天橋)からのエピソード

今から70年前の3月1日、烏山発6時13分、上野行S1機関車連結の列車に乗った。高校を卒業する1週間前だった。

見送りに来た父親が、心配そうに車窓の僕を見ている。涙を浮かべている。僕もついホロリとした。

気が付いたら前の座席にグレーのスーツを着た紳士。なんと湯の町エレジーの近江俊郎だった。平和館で歌って急ぎ帰京するのだろう。

宇都宮からは急行か二等へ乗り換えたのか、姿は見えなかった。

あなたのとっておきエピソードをお待ちしています！

■ 募集内容

「からせん」にまつわる思い出エピソード（200文字以上250文字以内）。写真も掲載できます。

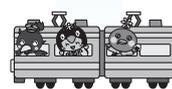
■ 応募方法

住所、氏名、連絡先を記入のうえ、メールなどで下記あて送付する。市ホームページのメールフォームからも応募できます。

■ 問合せ まちづくり課地域づくりグループ

☎ 0287-183-1151

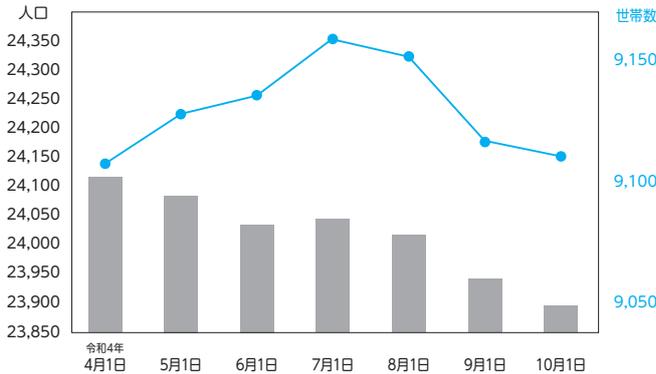
Eメール：machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp





市の人口

令和4年10月1日現在



人口 23,896(-44)

男	11,888	女	12,008
出生	8	死亡	39
転入	38	転出	51

世帯数 9,110

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。

●2022年度全日本テニス選手権大会
栃木県選(6月18日(土)、26日(日)、栃木県総合



スポーツの結果

■ふるさと応援寄附金
中島孝幸様(埼玉県さいたま市)から13万円、米山睦夫様(神奈川県横浜市)から7万円、匿名希望者31人から合計43万円が本市に寄附されました。

■企業版ふるさと応援寄附金
丸栄工業(株)様(東京都中央区)から寄附をいただきました。



「ぶ」寄附 ありがとうございます

●令和4年度防犯ポスターコンクール
【小学生の部】▽佳作:佐藤晴香(江川小6年)



受賞 おめでとう

赤ちゃん名 (保護者)住所
松井 紅 珀(光・紫音)大里
大瀧 真 叶(裕人・萌香)熊田
立花 京 華(直人・由妃)南十白
平塚 慶 (良一郎・明日香)興野
大野 来 那(裕隆・愛)谷浅見

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



おめでとう

申し込みお待ちしております！ 移動市長室

市長が、あなたが普段活動している場所へ出向き、お話を伺います。

色々な課題を一緒に考えましょう。

日時:開催を希望する日を第3希望までお知らせください。

場所:申込者が指定する場所へ出向きます。(市内に限ります)

対象:市内に在住、通勤・通学している人(グループ5~10人程度)

内容:参加者が決定したテーマについて、参加者と市長が直接話し合います。

申込:開催希望日の概ね2か月前までに総合政策課(烏山庁舎)へ

電話、FAXまたは直接申し込みください。メールフォームからも申し込みます。

メールフォーム: <https://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/mailform.php?code=35>

■問合せ 総合政策課広報広聴グループ

☎0287-83-1112



QRコードからも申し込みできます



【個人小学4年生以上の部】▽優勝:新井琢仁(宏倫剣道)▽準優勝:小川楷士(同)

【個人小学3年生以下の部】▽第3位:小川空澄(宏倫剣道)

【一般の部】▽優勝:烏山信用金庫▽準優勝:熱球会▽第3位:零、侍

●第43回南那須地区少年剣道大会(9月18日(日)、那須烏山市武道館)

●第42回市民ナイターソフトボール大会(9月7日(水)、8日(木)、9日(金)、14日(水)、15日(木)、烏山運動公園)

▽優勝:野上ソフトボールクラブ▽準優勝:やまびこクラブ

●秋季野球大会(9月11日(日)、18日(日)、烏山野球場)

▽第3位:那須烏山クラブ

●令和4年度第16回会長杯混合ソフトボール大会(9月5日(月)、6日(火)、7日(水)、緑地運動公園)

▽優勝:八ヶ代▽準優勝:藤田▽第3位:三箇、川井・志鳥

●令和4年度第16回会長杯混合ソフトボール大会(9月5日(月)、6日(火)、7日(水)、緑地運動公園)

▽優勝:八ヶ代▽準優勝:藤田▽第3位:三箇、川井・志鳥

【個人中学生男子の部】▽優勝:高野大翔(烏山中)▽準優勝:笠井雄斗(同)▽第3位:谷田風生(南那須中)

【個人中学生女子の部】▽優勝:山寺紗耶(南那須中)▽準優勝:伊藤優純(同)▽第3位:遠山侑琉(同)

運動公園

【一般女子ドロー32ドロー】▽優勝:落合美幸(大里)

●ノーブルホームカップ第24回関東学童軟式野球新人大会ブロック予選会(9月10日(土)、11日(日)、17日(土)、大桶運動公園野球場)



編集後記

焼き芋が美味しい季節になってきました。皆さんは、焼き芋好きですか？私は、オールシーズン食べるほど好きなので、スーパーで見かるとよく買っています。同じ焼き芋でも「ほくほく派」「ねっとり派」に好みが分かれるところですが、私は断然「ねっとり派」です◎

先日、自分で焼き芋を作ってみようと思立ち、炊飯器でも美味しくできると聞いたのでやってみたのですが、見事にパッサパサな焼き芋ができあがりました(笑)完全に水の分量を間違えたようです…自分好みの焼き芋が作れるまでチャレンジしたいと思います！(まずはお店の焼き芋をたくさん食べて研究しないとな～!!)



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0804
烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『介活入門』 牛越 博文
- ◇『なぜ、その地形は生まれたのか?』 松本 穂高
- ◇『YUcakeが教える特別な日のバタークリームケーキ』 永澤 優花
- ◇『ネコはここまで考えている』 高木 佐保
- ◇『我、鉄路を拓かん』 梶 よう子
- ◇『奇跡を蒔くひと』 五十嵐 貴久
- ◇『あなたの教室』 レティシア コロンバニ

◆児童図書◆

- ◇『考えると楽しい地図』 今和泉 隆行
- ◇『三まいのはがき』 おくやま ゆか
- ◇『ニヤンの日にまいます!』 木内 南緒
- ◇『ラベンダーとソプラノ』 額賀 滯
- ◇『海に生きる!ウミガメの花子』 黒部 ゆみ

- ◇『まよなかの魔女たち』 エイドリアン アダムズ
- ◇『きみのうたをさかせて』 ケアリー フェイガン

◆DVD◆

- ◇『氷の国のスイフティ』 アーロン・ウッドリー監督
- ◇『僕とロボと不思議な惑星』 エリック・トステイ監督
- ◇『モチモチの木』 片淵 須直監督
- ◇『護られなかった者たちへ』 瀬々 敬久監督
- ◇『妖怪大戦争ガーディアンズ』 三池 崇史監督
- ◇『ノー・タイム・トゥ・ダイ』 キャリー・ジョージ・フクナガ監督



文芸コーナー

俳句

水野 信一 選

生くるとは辛くて楽し赤とんぼ

和久 サク(野上)

おすわりの犬の鼻先秋彼岸

板橋 陽子(岩子)

ウォーキングに五キロの完歩秋日和

三保谷イツ(金井)

秋晴やゆつたり渡る境橋

柳 つしま(中央)

川柳

篠崎 酔月 選

採りたての胡瓜最高生で食う

樋山 隆(向田)

大空を借りて花火の大舞台

小川 昌子(向田)

音立てて納豆一膳今日の糧

森 豊(中山)

枝豆のつまみビールの量が増え

吉澤 恒子(落合)

短歌

滝口 節子 選

おかつぱと坊主頭の子らばかり団塊世代の写真は鈍色 川俣登志子(旭)

新米が出来たと今年も友来たり元気な友に感謝し味わう 安藤 伯麗(旭)

我が庭に次々に咲く四季咲きのバラを眺めて癒される日々 須田 孝子(城東)

実家の義兄にひとり居なれど清々し訪ねし我の無事を問いたり 古内 晴代(金井)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

有料広告を掲載しませんか？

市では、「広報なすからすやま」・「広報お知らせ版」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。掲載を希望する場合には、左記あてお問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ
☎0287-83-1112

広告種類	位置	規格	掲載料	発行日など
広報 なすからすやま	表紙・最終頁を除く下面	2色刷 縦4.7cm×横8.4cm	5,000円 /1回	・毎月10日に発行 ・行政区長文書配布、スーパー、コンビニエンスストアなどに配置
	最終頁の下面	カラー刷 縦4.7cm×横8.4cm	10,000円 /1回	
広報 お知らせ版	表紙・最終頁の下面	白黒刷 縦4.5cm×横10.0cm	5,000円 /1回	・毎月1・15日に発行 ・新聞折込、スーパー、コンビニエンスストアなどに配置
市ホームページ バナー広告	トップページの下面	縦50ピクセル× 横150ピクセル 容量：4KB以内 画像形式： GIF・JPEG・PNG	5,000円 /1か月	実績 3年度接続件数：576,387件 ページ閲覧件数：1,821,786件

みんなの自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真について一言(50字程度)記載してください。

■問合 総合政策課広報広聴グループ

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「志鳥の美しい里山と孫」
今井利道さん

移住して1年。2022年の春休みに孫が遊びに来ました。孫の表情と志鳥の自然がベストマッチした瞬間です。



「足の裏まで綺麗に！」
コナンさん

2001年7月26日産まれで21歳になりました。毎日欠かさず毛づくろいしています。



「秋の足音」
匿名

落ち葉で色づく道をお散歩。肌寒い中にもあたたかさを感じます。

子どもたちの笑顔輝く 秋の運動会盛大に

市内の各小学校や幼稚園・保育園で運動会が開かれました。保護者などからの声援を受けながら、一生懸命競技する子どもたちの姿が見られました。今回は、運動会の様子を写真で紹介します。

①烏山聖マリア幼稚園、②荒川小、③烏山小、④烏山保育園、⑤すくすく保育園



医療共済

メディフル

Point
その1

1 1日入院で治療共済金**30万円**が受け取れます ※1

Point
その2

2 一生保障や先進医療保障など、自由に設計できます

※1 治療共済金額30万円の場合

JAなす南本店 共済課 96-6165

●南那須支店 88-7121 ●烏山支店 83-2111
●馬頭支店 92-2711 ●小川支店 96-2131

JA共済
22096010221

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。ご契約に際しては、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

有料広告

くつろぎのカフェ時間♪

田園風景を眺めながら癒しの空間
はいかがですか?
ビストロプレート500円〜
田野倉4番地3
☎0287-838874
ビストロペールドヴォーテ